

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	270101751		
法人名	有限会社コスモス		
事業所名	グループホームコスモス苑		
所在地 (電話番号)	〒030-0145 青森県青森市金浜字稲田111番1 (電話) 017-729-8946		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成20年3月22日	評価確定日	平成20年6月18日

【情報提供票より】(平成 20年 2月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 11月 22日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤	14人, 非常勤 1人, 常勤換算 12.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	24,000 円	その他の経費(月額)	21,000 円
敷 金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	250 円	昼食 300 円
	夕食	450 円	おやつ 円
または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(2月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性	9 名	女性	9 名
要介護1	5 名	要介護2	5 名		
要介護3	5 名	要介護4	1 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 81.3 歳	最低	61 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	青森協立病院、奥野ミナトヤ歯科医院、成田祥耕クリニック、佐藤内科クリニック
---------	---------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>ホ - ム周辺は田園に囲まれ静かな環境にある。廊下から真正面に見える八甲田連峰は素晴らしい眺めで入居者の方も喜んでいて、ホーム開設は平成15年ということで、ようやく土地柄にも慣れてきたところである。ボランティアによる三味線や手踊りなどの行事があり、入居者の楽しみとなっている。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前はマニュアル関係の整備が求められていた。今回はマニュアルは冊子など参考資料から取ってまとめられているが、さらにホ - ム独自のものとして作り上げることで、自分たちの手順書となり、サ - ビス評価をする指標として活用してほしい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者、職員は評価の意義を理解し、各ユニットで自己評価をしている。課題などあったときには、その改善に努めサ - ビス向上に繋げて支援している。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は2ヶ月に1回実施し、事業所の取り組み内容や改善課題、また家族の意見などについて話し合っている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>家族等の来訪時に話しやすい雰囲気を作り、意見を吸い上げ、ホーム運営に活かしている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域住民とは気軽な交流が出来ているが、行事への参加を通じて更に地域とは連携を深める努力をしている。また、地域へ入居者が無断外出などした際の協力を得ている。今後はさらにボランティア来訪時などには地域住民にも参加を呼びかけ、ホ - ムを理解して頂きたい機会として活用していくことが望ましい。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム独自の理念があり、地域の中でその人らしく暮らし続けるサービスとして地域と交流を図りながら支援している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者はミ - ティングで理念のことにふれ、共有し、具体的に目標をたて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域住民とは気軽な交流が出来ているが、行事への参加を通じて更に連携を深める努力をしている。又包括支援センター - や近隣の協力施設と一緒に市民センター - で認知症に関する寸劇を行い、理解を深める活動をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は評価の意義を理解し、各ユニットで自己評価をしている。課題などあったときには、その改善に努めサ - ビス向上に繋げて支援している。		自己評価では項目のねらいと記載内容が一致していない箇所があるので、ガイドブックや他施設の自己評価の内容を参考に、内容の充実を期待したい。
5	6	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に一回実施し、事業所の取り組み内容や改善課題、また家族の意見などについて話し合っているが、参加者が少ないのが課題である。		運営推進会議で家族の参加が特定の人にならないように、参加を促してはどうか。また、サ - ビス内容が近い人達だけだと評価しにくいものがあるので、包括支援センター - や市の方にも早めに予定を入れ、参加を呼びかけるなどの工夫に期待したい。
6	7	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村からの文書を職員に周知している。		運営推進会議の結果を報告するだけでなく、日頃より報告や相談する体制をつくり、問題発生時、解決に向け協議しサ - ビスの向上に取り組むことが望ましい。
7	8	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	対象となる入居者はいないが、成年後見制度の研修会に参加したり、弁護士に相談したりして、いつでも対応出来る体制を整えている。		
8	9	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会に参加して、虐待防止について理解を深め、虐待のないケアに努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約する時や解約する時は十分説明し納得いただき同意書をとって支援している。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>家族へは、日常生活や近況を電話やホ - ムによりで報告し、面会時に積極的に対話を心掛けている。金銭管理は出納簿を付けているが、入金者が不明であったり、家族に確認頂いた際の家族と職員の確認印がなかったりしている。また、出納簿と領収書が別になっており、確認しにくい。</p>		<p>記録を整備し、確認しやすい体制をつくることを期待したい。</p>
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議に参加した家族の意見に加え、管理者は家族等の来訪時、一緒にお茶を飲むなど話しやすい雰囲気をつくって、意見を吸い上げ、寄せられた意見をホ - ム運営に活かしている。</p>		<p>家族の意見はなかなか表出されないで、書面で意見を吸い上げることも考えたかどうか。苦情だけでない要望もあるということも視野に入れ、広く考え対応する事が望まれる。</p>
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>離職以外職員の異動はなく、馴染みの関係を心掛け支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の希望や会社の方針で研修会に参加している。また資格取得の場合は資格手当を支給し、自己啓発を促している。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括支援センターや近隣の施設と交流がある。寸劇をつくって公演したり、他施設の催し物に利用者と一緒に参加したりして、サービスの質を向上させる取り組みをしている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	安心して利用してもらうために、入居申し込み時、入居予定者、ご家族に見学してもらったり、仏壇などの馴染みの物を持参してもらったりしている。また職員は笑顔で接し、徐々に馴染んでもらえるよう雰囲気づくりに心掛けている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者の話にゆったりと時間をかけながら傾聴している。食事後の後片付けなど一緒にいき共に支え合える関係づくりに留意し支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者の意思を尊重して、買い物に行きたい時には一緒に出かけるなど、一人ひとりの意見を聞き、確認しながら支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアプランの作成は入居者、ご家族からの意向が盛り込まれ職員間で検討し、作成されている。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケアプランは3ヶ月ごとに見直しをしている。入居者に変化が生じた時はその都度見直しをして現状に合ったケアプランで支援している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	行事や外出は入居者の要望に応じて支援している。通院はご家族と一緒にいけない状況でも、ホ - ムの柔軟な対応で支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者、ご家族の意向を聞き希望するかかりつけ医に診てもらっている。病状に合わせた受診の支援をしている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ターミナルケアについて外部研修を受けている。職員全員の理解に向けて努力している。		重度化に伴い、ホームが出来ること、出来ない事の説明をして、本人、家族やかかりつけ医と話し合い、方針を家族、職員が共有することが望まれる。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者の自尊心に配慮した対応がされている。また個人に関する書類は事務室に保管し、見えないように工夫をしている。		書類の保管だけでなく、その取り扱いなどについても職員に周知することが望ましい。個人情報に関する取り扱いマニュアル作成など検討されてはどうか。
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の入居者の気持ちを尊重し、一人ひとりのペースや体調に合わせて対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>入居者と同じ食事を管理者と一緒にとっている。介助の必要な時、職員がさりげなく側にきて介助している。食後は入居者と一緒に後片付けをしている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>基本的には週2回の入浴日としているが、入浴日以外でも希望があれば入浴出来る体制にある。見守りが主体でゆったり入って頂いている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>入居者の得意な事を把握し、声がけすることで洗濯物たたみや食事のセッティング、食後の後片付けなどを楽しみながら行ない、役割意識を持てるよう支援をしている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>天気の良い日は屋外に出て散歩や日光浴をし、入居者の意向を聞きながら買い物、食事会に出かけている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>全職員が身体拘束をしないという理解をしている。やむを得ず拘束を行う際は、ご家族の承諾を得ている。身体拘束禁止のマニュアルはあるが、具体的ではない。</p>		<p>マニュアルには具体的に拘束する場合時間と部位など書く事が求められているので、指針を参考に記載する事が望まれる。</p>
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>鍵をかけることの弊害を職員は理解し、日中は鍵をかけていない。出かける習慣のある入居者にはそれとなく後ろから見守りしながら支援している。更に地域の方にも協力を得られる体制をとっている。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>災害時の連絡体制や役割分担なども決め毎月避難訓練を実施している。2階からの避難誘導時には毛布や布団の活用も考え、写真をつけて記録している。</p>		<p>避難訓練に地域住民の協力を求めることで、よりホームを理解していただけるのではないかと。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取、水分摂取はケース記録に日々記入している。おおよその摂取カロリーは1,600加リーと設定しているが、管理栄養士は献立表に関わっていないため、食事の摂取カロリーを計算していない。</p>		<p>食べる量や水分摂取は一人ひとり違いがあるので、健康状態を知るためにも食事量と水分量を確認し栄養バランスを考えた献立をたて、実施する事に期待したい。</p>
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>マニュアルは準備されているが、定期的な見直しが行われていない。また、学習会等が開かれておらず、職員の理解が徹底されていない。</p>		<p>マニュアルを職員が理解し、ホームに合ったものとして共有し感染予防に繋げることが望ましい。来訪者の啓蒙も視野に入れ手指消毒を徹底するなどの支援が望まれる。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は開放的な雰囲気である。明るく家庭的な感じで、入居者にとって居心地よく過ごせる環境スペースである。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族に働きかけ、居室にはテレビや棚、仏壇など持ってきて頂いている。家族の写真なども飾り、入居者が安心して過ごせるように支援している。</p>		

 は、重点項目。